



▲②お茶を使った料理などの紹介



▲③マイブレンド茶作り

～「知覧茶アンバサダーオンラインスクール」開催～ 知覧茶の郷から全国へ向けて

南九州市茶業振興会では、知覧茶を全国へPRする「知覧茶Ambassador online school」を全4回で開催しました。

当初20人規模で開催予定でしたが、全国から94人の応募があり外国人を含む40人に対してオンラインにより開催しました。

参加者は、写真にある①、②、③などの盛りだくさんの内容で知覧茶について理解を深めました。

今回「知覧茶Ambassador」に認定された方が、今後さまざまな形で知覧茶の魅力を発信していただくと期待しています。



▲①知覧茶ができるまで

～有限会社南州メディカルから～

市内小・中学校へ消毒液の寄贈

9月22日、有限会社南州メディカルから市内の小・中学校20校に対して、500ml入のアルコールジェル消毒液1,000本が寄贈されました。

社長の中渡瀬岩男さんの「故郷の子どもたちのためにぜひ使っていただきたい」という温かい気持ちが込められたものです。

寄贈式は、母校である松ヶ浦小学校で行われ、児童からのお礼の言葉と感謝状が贈られました。



▲消毒液を寄贈した(有)南州メディカル専務の中渡瀬孝彬さん（左から4人目）

～鹿児島国際大学と包括連携協定～

大学生の提案による包括連携協定

9月17日、市役所で鹿児島国際大学との包括連携に関する協定締結調印式が行われました。

本協定は、市民であるジェフリー・アイリッシュ教授のゼミ生が南九州市との持続した関係性を持ちたいとの提案がきっかけで、幅広い分野で相互に協力し、地域社会の発展と人材の育成を目的として締結したものです。

今後は大学との連携により、地域の課題解決に大きく貢献するものと期待されています。



▲包括連携協定を結んだ鹿児島国際大学の学長ら（右側4人）

～かごしま国体花育てりレー～

市内19の保育所で花いっぱい運動

8月23日、鹿児島県農業大学校より市内19の保育所へ花の苗が配布されました。

これは、市内を花で装飾し、かごしま国体に訪れる多くの来場者を温かく迎えるためのイベントで、2年後の開催に向けて試験栽培を行っています。

園児が一生懸命育てた花を各保育所に飾ってありますので、ぜひご覧ください。



▲大川子ども園の園児も花を育てました!

～高齢者との異世代交流活動～

華道や茶道を体験しました!

9月25日、昔あそびなど子どもと高齢者のいきいき異世代交流活動を知覧地区公民館で行いました。NPO法人虹花は今後、10月23日、11月27日も伝承あそび自然あそびなどを行う予定です。鹿児島大学生と「楽しい理科実験」も11月20日、12月18日、1月15日、2月19日に計画中です。地域の中で交流遊びや体験活動を通して子どもたちの居場所づくりとして、子どもゆめ基金の助成を受けて活動中です。



▲高齢者の方などから華道あそびを教わりました!

～浮辺自治会の十五夜行事ソラヨイ～

満月の下でソーラヨイ、ソーラヨイ

9月21日の中秋の名月の下、浮辺地区公民館にてソラヨイが行われました。

ソラヨイは国の重要無形民俗文化財の一つで、知覧の中部地区に伝わる十五夜行事です。今年は満月の下、子どもたちがわらで作った装束で元気よく歌いながら登場、収穫への感謝と豊作を祝う踊りを披露しました。

集まった地域の皆さんも楽しそうに見つめながら、子どもたちに拍手を送っていました。



▲満月の下、ソラヨイの踊りを披露する浮辺自治会の子どもたち

～知覧町南別府の松ヶ浦シーサイドパークにて～

ウミガメの赤ちゃん放流会

8月23日、松ヶ浦小学校の子どもたちなど約70人がウミガメの赤ちゃん76匹の放流会を行いました。

放流会では、松ヶ浦小の5・6年生によるウミガメに関する研究発表があり、ウミガメ保護活動の様子、地球温暖化や海洋汚染がウミガメの生活環境に悪影響を及ぼしていることなどの説明がありました。

放流会に参加した子どもたちの手から離れたウミガメの赤ちゃんたちは、子どもたちに見守られながら、無事に大海原へ旅立っていきました。



▲放流されたウミガメの赤ちゃん